

- 反ユダヤ主義の根底
  - 
    - ユダヤ人
      - 金融や行政に関わる
      - 国家に寄生しているイメージ
      - 反ユダヤ＝全体主義への道の出発点
  - 問い
    - 「なぜユダヤ人だったのか？」
    - 偏見や国民国家の不安定さを描く
- 帝国主義と人権崩壊
  - 
    - 帝国主義を分析
      - 人種差別や官僚主義が常態化
      - 「ブーメラン効果」
  - 国民国家そのものが弱体化
    - 市民権を失う人々
    - 二分される現象
  - 帝国主義が全体主義への橋渡しになっていた
- 全体主義という支配
  - 「新しい政治形態」
    - ナチズムやスターリニズム
    - 全社会を支配しようとする
  - 
    - 最大の特徴
      - テロル（恐怖）の組織的利用
      - 指導者への個人崇拝が中心
  - 人間の「行為」
    - ＝自由な政治参加の可能性